

令和 5 年度出張美術展 実施報告

【報告】

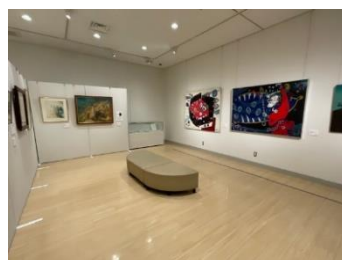
令和 5 年 5 月から 6 月にかけて、船橋市内の公民館、学校、文化施設に市所蔵作品を展示する「出張美術展」を郷土資料館で開催した。市所蔵作品に、ご遺族など市内の方からお借りした作品を加え、23 点の美術作品を展示。「どこかで見た不思議な風景」と副題をつけ、“風景”という大きなテーマで展示を構成し、様々な作家やジャンルの美術作品を伝える展覧会とした。また、郷土資料館との共催事業として、美術作品に関連する資料館所蔵の写真等資料を併せて展示することで、作品へ多角的にアプローチできるような試みとなった。

展覧会の学校連携事業として、施設の近隣にある薬田台南小学校と薬田台小学校の 5 年生を対象に見学会を実施した。同校の児童たちは事前に、学内にて「ふなばしアートカード」を使ったグループワークを行い、その一週間後、展覧会場に来訪。子供たちは、クラスごと 2 グループに分かれ、2 階の郷土資料の展示室と 3 階の企画展示室で開催している出張美術展を見学し、「この前アートカードで見た絵だ!」と興味深そうに展示室を見まわしていた。会場にて、学芸員がファシリテーターとなり、熊谷文利《祈祷師群団(疑惑)》と井出文蔵《晩帰》の対話型鑑賞を行うと、子供たちは、アートカードとはサイズや質感も違う「本物の絵」の感想を口々に発言していた。二宮中学校の美術部も見学を訪れ、小学生と同様、グループに分かれて対話型鑑賞を実施。中学生の発言には、環境問題について述べたものもあり、成長段階の違いで、作品の見方が異なっていることを改めて感じた。

このたびの出張美術展は郷土資料館での初めての開催であったが、展覧会を行う「場」について考える機会となった。同時期に開催していたミニ展示企画「津田沼 PARCO の思い出」を目指してきた来場者や、資料展示に関するクイズラリーをしに来た子供たちなどにも、企画展示室で開催していた出張美術展に足を運んでもらい、新しい層に「船橋の美術」を伝えることができた。また、施設が公園に隣接していることもあり、散歩等のついでに資料館に訪れる人たちの姿が多く見受けられたことが印象的であった。第 2 次船橋市文化振興基本方針の重点プログラム「アートでつながるまち ふなばし」で掲げているように、美術においても、様々な施設と連携し、身近な場所で、年齢問わず、気軽に鑑賞を楽しめる機会を、今後もつくっていききたいと思う。

*ふなばしアートカード・・・市所蔵作品 30 点をカードにしたオリジナルの美術教材

(本市学芸員 益子実華)



展示風景

令和5年度出張美術展「どこかで見た不思議な風景」

会期：令和5年5月27日(土)～6月11日(日)

会場：船橋市郷土資料館

入場：無料

- ☐ 展示作品：別紙目録参照
- ☐ 会場配布物：出品作品リスト
- ☐ 来場者数：1334名
(一般、薬円台南小 64名、薬円台小 106名、二宮中美術部 26名、教員 12名)
- ☐ アンケート回収：66枚
- ☐ アンケート結果：別紙
- ☐ 広報：広報ふなばし(6月1日号)、月刊ぐるっと千葉6月号、千葉日報(6月6日号)
船橋よみうり(6月10日号)

関連イベント

- ☐ 担当学芸員による対話型ギャラリーツアー
日時：6月9日(金)午後2時～午後2時半
講師：益子実華(文化課学芸員) / 会場：郷土資料館 第二展示室
対象：一般 (事前予約なし、先着順)
参加費：無料 / 参加者数：23名
- * 大人向けの対話型鑑賞を実施

学校連携事業

- ☐ 展覧会見学会(薬円台南小学校)
日時：6月8日(木)1～3時間目(45分授業)
対象：5年生 計2クラス(計64名)
会場：郷土資料館第二展示室
内容：美術担当学芸員による対話型鑑賞、郷土資料館展示室見学
- ☐ 展覧会見学会(薬円台小学校)
日時：6月9日(金)1～4時間目(45分授業)
対象：5年生 計3クラス(計106名)
会場：郷土資料館第二展示室
内容：美術担当学芸員による対話型鑑賞、郷土資料館展示室見学
- ☐ 展覧会見学会(二宮中学校美術部)
日時：6月10日(土)午前中
対象：美術部(1～3年生)(計26名)
会場：郷土資料館第二展示室
内容：美術担当学芸員による対話型鑑賞、郷土資料館展示室見学

出張美術展見学会(薬円台南小学校・薬円台小学校)【6月8日(木)・9日(金)】



対話型ギャラリーツアー【6月9日(金)】



二宮中学校美術部見学会【6月10日(土)】



